3年　技術・家庭科（技術分野）　週 0.5 時間

1　教科の到達目標（学習のねらい、身に付けたい力）

〇生活に役立つ技術に関する「基本知識」や「技能」、生活をより良くするための「創造」や「工夫」のしかたを身に付ける。

〇実際に生活に役立つ作品を取り上げ、製作工程に従って作業を進めます。最後まであきらめず完成を目指すことにより、達成感や成就感を味わい、ものづくりの喜びを実感する。

2　年間学習計画と単元（題材）

学期	月	単元名　学習の内容	達成目標（ねらい）
1学期	4 5 6 7	〇生物育成に関する技術 ・生物の育成 ・作物の栽培 ☆栽培実習（4月下旬～6 月） 播種　～　収穫まで	・生物育成の意味と目的、生活における役割を知ることができる。 ・生物育成のサイクルと育成計画を構想し、育成の見通しを持つことができる。 ・生育に適する条件や土や肥料について理解できる。 ・種まき～育苗～定植～収穫までの手入れの仕方などを知り、適切な管理ができる。
2学期	9 10 11	〇情報に関する技術（3） ・情報通信ネットワークの利用と情報セキュリティ ・情報モラルと知的財産 ・コンピュータと情報処理 ・プログラムによる計測と制御による問題解決	・情報を扱う際のルールとマナーなどのモラルを知り、情報の適正な利用について理解できる。 ・知的財産を保護する必要性と利用する方法について理解できる。 ・コンピュータを利用した計測・制御の基本的なしくみが理解できる。
3学期	12 1 2 3	・双方向性のあるコンテンツによる問題解決	・情報処理の手順を考え、簡単なプログラムが作成できる。 ・機器を制御する適切なプログラムを作成できる。 ・情報を収集し、それらを適切に処理し、発表することができる。

３　評価方法

各観点	評価規準	評価方法
知識・技能	・生物育成やコンピュータの活用に必要な基礎的な技能を身に付け、その技能を安全で適切に活用している。	・作品 ・観察 ・育成と育成記録 ・定期考査
思考・判断・表現	・生活と技術の関わりについて見直し、課題を見つけ、その解決を目指して自分なりに改良し応用、工夫について考えている。	・作品 ・育成記録 ・観察 ・定期考査
主体的に学習に取り組む態度	・生物育成やコンピュータ活用に関する技術について関心をもち、生活を充実向上するために進んで工夫し創造、実践しようとしている。	・授業態度 ・提出物 ・観察 ・定期考査

４　授業の取り組みについてのアドバイス

・技術では何気ない作業の1つ1つの中にも自分で課題を見つけ、自ら考えて工夫しながら作業を進めてゆくことが大切です。
　例えば、植物に水やりをする際、何に気を付ければよいかなどよく考え、知識をもとにして試行錯誤をくりかえしながら作業を進めていくことが重要です。
・普段から授業の説明をよく聞き、重要だと思った点があれば、指示がなくても自らの判断でノートに書き留めるなどの積極的な姿勢が必要です。

５　家庭学習の進め方についてのアドバイス

・技術では家庭での予習は特に必要ありません。そのかわりにその日に学習した授業内容をよく思い出して、復習をしっかりするように心がけてください。

６　定期テスト前の取り組みについてのアドバイス

・技術の試験問題には、実習時に説明した作品製作上のポイントや注意点などが多く出題されます。
・授業で使用したプリントを中心によく復習し、教科書の関連する部分にも目を通しておくようにしましょう。

７　苦手な人の取り組みについてのアドバイス

・技術の製作で重要なのは集中してていねいに作業に取り組むことです。この点によく注意し、指示を守って取り組めば必ず良い作品を仕上げることができます。あきらめずにがんばって取り組んでください。